

立命館大学環太平洋文明研究センター第34回研究会

日時：2020年12月8日（火）16:00-17:30

場所：Zoom（参加には事前登録が必要です）

※ 参加をご希望の方は、12月7日までに富田(r-ppc@st.ritsumeai.ac.jp)にご連絡下さい

人と家畜の贈与交換とその変容 —スンバ島の婚姻／死者儀礼の事例から—

酒向溪一郎

（先端総合学術研究科・文化人類学）



スンバ島に関するこれまでの人類学的な研究は、家畜を交換財や供儀獣として、単に人間により利用・操作される財として描いてきた。他方、近年の人類学では、人と動物が情緒的な関係を育み、生物種を超えた連続性のなかで贈与交換の関係が築かれるという見方を示している。以上の研究の展開を踏まえ、本発表では、スンバ社会を維持・再生産してきた人間どうしの贈与交換には、人間と家畜の関係性が織り込まれた上に成立していることを明らかにする。さらに今後の展望として、市場経済の拡大により人と家畜の関係性だけでなく、人びとの家畜をめぐる贈与交換自体も変容しつつある可能性を指摘する。

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加下さい。
お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335 HP：<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/rcppc/>